ジンバブエ経済（経済情報の週間とりまとめ：10月第1週目）

- 1 ジンバブエ産ごま市場拡大の可能性
- 2 政府、鉱物資源採掘量の申告漏れを懸念
- 3 ゴールド電子トークン(ZiG)、市場での利用が開始される
- 4 ジンバブエ電力配給公社(ZETDC)、電力供給量引き上げのため電力税引き上げ

1 ジンバブエ産ごま市場拡大の可能性

ジンバブエ貿易開発促進庁(ZimTrade)は、ごまにおける国際的需要が高まりをみせるなか、ごまの生産に最適な条件をもつジンバブエのごま輸出機会の拡大を期待する。2022年の国際的需要は、36億米ドルであり、2018年から16%上昇した。現在、ごまの最大消費及び輸入国は中国であるが、中東諸国、米国、日本、インド、EU諸国や他アフリカ諸国を相手に、質の高いごま生産国として、輸出拡大が見込まれる。(9月28日付、ニュースデイ紙)

報道リンク

: <https://www.newsday.co.zw/theindependent/agriculture/article/200017232/zim-targets-sesame-global-market>

2 政府、鉱物資源採掘量の申告漏れを懸念

(1) フィデリティ金精錬所(FGR)へ引き渡される鉱物資源量が減少している。ソーダ鉱山・鉱山開発大臣は、鉱物資源(採掘)量の申告漏れにより、巨額の歳入機会を損失しているとし、「鉱物資源量の申告漏れは、税収やロイヤルティによる歳入機会を奪っており、鉱業分野における不明瞭性と不安定を生み出し、海外投資を阻んでいる。金においては、違法市場へのサイド・マーケティングが蔓延しており、合法的な金鉱業の利益を得られなくさせ、違法活動を促進している。」と述べた。

昨年同期比で、1~8月にかけて金の採掘量は13.2%減少している。(5日付、ニュースデイ紙)

報道リンク : <https://www.newsday.co.zw/local-news/article/200017569/govt-sweats-over-mineral-leakages>

(2) 9月の金生産量が26%上昇

9月の金生産量が、8月の金生産量から26.24%増加し、昨年同期比では、7.28%減少した。(6日付、ニュースデイ紙)

報道リンク : <https://www.newsday.co.zw/business/article/200017605/gold-deliveries-up-26-in-september>

3 ゴールド電子トークン(ZiG)、市場での利用が開始される

5日より、国内取引において、ゴールド電子トークン（ZiG）も支払い方法として認められるようになった。ZiGは、5日時点で、1ミリグラムあたり377,77ZWLもしくは6.14米ドル相当である。ジンバブエ中央銀行（RBZ）が管理している金と同量のZiG分だけ発行され、外部監査も入る。ZiGは、投資や価値貯蔵を目的として使われていたが、5日からは、買い手と売り手の両方がZiG口座をもち、取引の際にZiGを利用することに合意した場合に、ZiG口座を通して取引ができる。

取引の際には、ゴールド電子トークンはジンバブエ・ゴールド（ZiG）-実際の金の電子版-として表示され、ZWL及び米ドルのどちらでもトークンを購入することができる。（6日付、ヘラルド紙）

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/gold-backed-tokens-enter-market/>

4 ジンバブエ電力配給公社（ZETDC）、電力供給量引き上げのため電力税引き上げ

ジンバブエ電力配給公社（ZETDC）は、2023年の電力税を2米セント引き上げる申請をし、これにより、安定した電気供給量と経済成長支援のためのキャパシティが作られると述べた。ZETDCは、電力税の引き上げにより、電力配給にかかる修繕及び維持等を含む事業への資金や、ワンゲ火力発電所7・8号機の修繕事業や1～6号機のメンテナンスにかかる融資返済に割り当てられる。

現在、ZESAの電気税は137ZWL/kWhであるが、147ZWLまで引き上げられる予定。（8日付、サンデーメール紙）

報道リンク：<https://www.sundaymail.co.zw/zetdc-seeks-tariff-increase-to-boost-power-supply>